

## 23 認知症疾患医療センター



「認知症疾患医療センター」とは、認知症患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるための支援の一つとして、都道府県や政令指定都市が指定する病院に設置するものであり、認知症疾患における鑑別診断、地域における医療機関等の紹介、認知症の行動・心理症状への対応についての相談受付等を行っている。

鑑別診断は神経内科及び精神科神経科の医師が担当しており、28年度は190件の鑑別診断を行った。相談はソーシャルワーカーと看護師が電話及び面接等により行っており、28年度の相談援助延件数は729件であった。

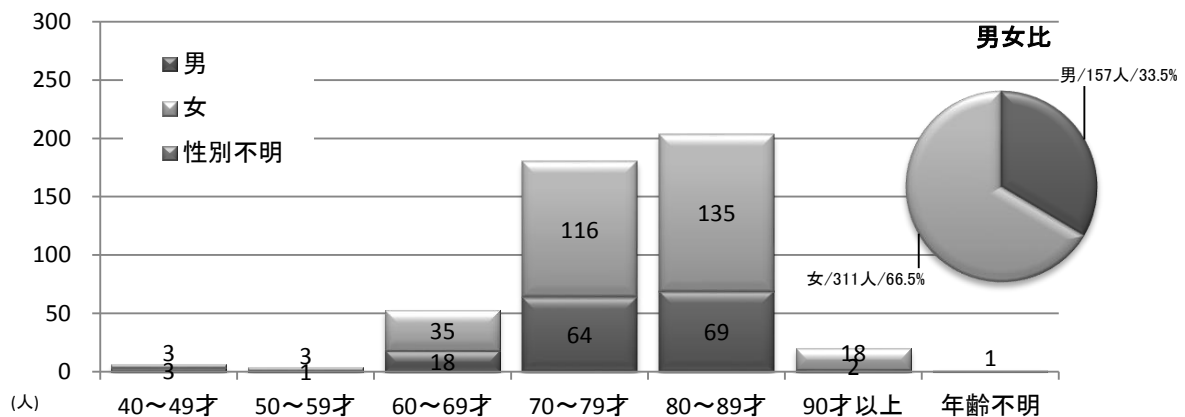
急増する認知症高齢者に対応するため、かかりつけ医等との連携を強化し、認知症の早期発見・早期診断に積極的に取り組むとともに、保健医療関係者等への研修会や啓発活動を行い、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上に努めていきたい。

23-1 年度別鑑別診断件数

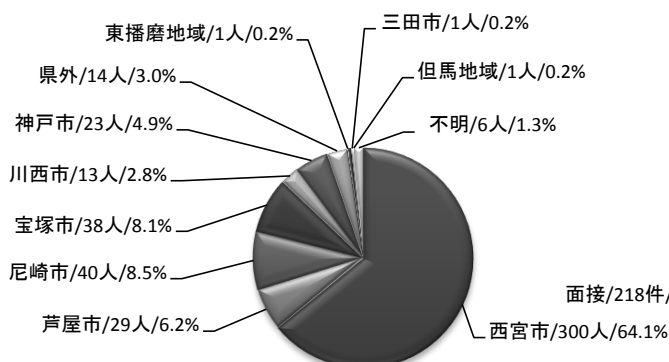
(件)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)	
鑑 別 診 断 件 数	132	129	175	180	190	-	
断	アルツハイマー型 認 知 症	53	49	43	50	63	33.2
	脳血管性認知症	4	8	5	3	4	2.1
	混合型認知症	8	4	17	5	9	4.7
	レビー小体型認知症	2	4	2	3	12	6.3
	前頭側頭型認知症		2	8	7	8	4.2
	軽度認知障害 (MCI)	40	30	53	65	41	21.6
	年 齢 相 応	13	14	22	22	25	13.2
名	そ の 他	12	18	25	25	28	14.7
処 遇 方 針	当 院 通 院	13	10	10	18	22	11.6
	他 院 通 院	101	106	150	147	167	87.9
	そ の 他	18	13	15	15	1	0.5

23-2 28年度取扱年齢別実患者数の構成及び性別の構成比率(合計468人)



23-3 28年度取扱住所地別実患者数の構成比率(合計468人)



23-4 28年度相談援助延件数の内訳(合計729件)

